



平成31年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年6月29日

上 場 会 社 名 株式会社ケーヨー

上場取引所 URL https://www.keiyo.co.jp

コード番号 8168

(氏名)醍醐 茂夫

代 表 者 (役職名)代表取締役社長

問合せ先責任者 (役職名)常務取締役社長室室長兼管理本部 (氏名)寺田 健次郎 (TEL) 043-255-1111

本部長兼コンプライアンス担当

四半期報告書提出予定日 平成30年7月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無:無 四半期決算説明会開催の有無:無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第1四半期の業績(平成30年3月1日~平成30年5月31日)

(1)経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高 営業利益		経常利益		四半期純利益			
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	31, 567	△14.0	204	△76.8	410	△63.3	270	△59.9
30年2月期第1四半期	36, 687	△7. 1	882	42. 0	1, 117	31.8	673	41. 9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益		
	円銭	円 銭		
31年2月期第1四半期	4. 15	_		
30年2月期第1四半期	10. 33	_		

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第1四半期	90, 430	44, 086	48.8
30年2月期	86, 243	43, 433	50. 4

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 44,086百万円 30年2月期 43,433百万円

2. 配当の状況

		年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭		
30年2月期	_	6. 25	_	6. 25	12. 50		
31年2月期	_						
31年2月期(予想)		6. 25	_	6. 25	12. 50		

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 平成31年2月期の業績予想(平成30年3月1日~平成31年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	68, 200	△4. 9	1, 750	14. 6	2, 100	8. 8	1, 250	6. 9	19. 19
通期	127, 800	△3.3	2, 300	50. 3	3, 000	22. 4	1, 650	27. 2	25. 33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)31年2月期1Q65,140,184株30年2月期65,140,184株② 期末自己株式数31年2月期1Q1,840株30年2月期1,657株

65, 139, 899株

③ 期中平均株式数 (四半期累計) 31年2月期1Q 65,138,439株 30年2月期1Q

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株)ケーヨー(8168) 平成31年2月期第1四半期決算短信(非連結)

○添付資料の目次

1.	当四	当半期決算に関する定性的情報	2
	(1)	経営成績に関する説明	2
	(2)	財政状態に関する説明	2
	(3)	業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2.	四当	半期財務諸表及び主な注記	3
	(1)	四半期貸借対照表	3
	(2)	四半期損益計算書	5
		第1四半期累計期間	5
	(3)	四半期財務諸表に関する注記事項	6
		(継続企業の前提に関する注記)	6
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
		(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
		(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成30年3月1日~平成30年5月31日)におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策を背景に、企業収益の回復や雇用環境の改善などにより、緩やかな回復基調が見られました。

一方で、米国政権の動向や欧州の政治情勢の不安定さ、中東およびアジア地域における地政学リスクの高まりにより、国内景気への影響が懸念される等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

小売業界におきましても、同業他社や他業態との競争も激化する中、人手不足に伴う人件費の増加や物流費の上昇等のリスクもあり、依然として厳しい経営環境となっております。

そうした中、当社におきましては、2021年2月期を目標到達年度とする中期経営計画に沿って、既存店の抜本的な改善策として、荒利益を重視し、経費の効率化を進めながらお客様のニーズにあった品揃えやサービスを提供する事で、売上高・客数を確保する戦略をとってまいりました。

DCMホールディングス株式会社との取り組みにつきましては、当事業年度より物流体制を統一させた上で、商品入替作業をさらに本格化させてまいりました。全面改装・部門改装により売場を大きく変更して、DCM棚割導入店舗を増やしてきた他、既存店ではアイテム・棚割単位での入替作業を同時に進めてまいりました。

また、折込チラシを中心とした広告宣伝費の見直しを行い、販売促進費の効率化を図りながら「ゴールデンウィークセール」や「創業祭」等による集客も引き続き行ってまいりました。

なお、DCM棚割導入改装を3月に一宮八幡店(愛知県一宮市)、4月に扶桑店(愛知県丹羽郡扶桑町)で実施 しリニューアルオープンしました。

以上のような取り組みを行ってまいりましたが、商品入替作業による機会損失および経費の増加等の影響もあり、当第1四半期累計期間の業績は、

 売上高
 315億67百万円
 (前年同四半期比
 86.0%)

 営業利益
 2億4百万円
 (前年同四半期比
 23.2%)

 経常利益
 4億10百万円
 (前年同四半期比
 36.7%)

 四半期純利益
 2億70百万円
 (前年同四半期比
 40.1%)

となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は904億30百万円となり、前事業年度末に比較し41億87百万円増加いたしました。主な要因は現金及び預金35億13百万円、投資有価証券11億79百万円の増加と一方、商品1億83百万円、約定回収などによる差入保証金1億67百万円の減少などによるものです。

負債合計は463億43百万円となり、前事業年度末に比較し35億34百万円増加いたしました。主な要因は支払手形及び買掛金57億98百万円の増加と一方、短期借入金17億86百万円の純減、長期借入金の返済6億96百万円などによるものです。

純資産合計は440億86百万円となり、前事業年度末に比較し6億52百万円増加いたしました。この要因はその他有価証券評価差額金7億90百万円の増加、四半期純利益2億70百万円の計上、剰余金の配当4億7百万円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の業績予想につきましては、「平成30年2月期 決算短信(非連結)」(平成30年4月13日付) にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7, 383	10, 897
受取手形及び売掛金	728	1, 178
商品	26, 736	26, 552
その他	3, 646	3, 380
流動資産合計	38, 494	42,009
固定資産		
有形固定資産		
建物	24, 138	24, 185
土地	10, 603	10, 603
その他	13, 891	13, 928
減価償却累計額	△27, 259	△27, 417
有形固定資産合計	21, 373	21, 300
無形固定資産	1, 478	1, 401
投資その他の資産		
投資有価証券	13, 832	15, 011
差入保証金	10, 174	10, 007
その他	1, 314	1, 107
貸倒引当金	△338	△320
投資損失引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	24, 896	25, 719
固定資産合計	47, 748	48, 421
資産合計	86, 243	90, 430

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成30年 2 月28日)	当第1四半期会計期間 (平成30年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10, 646	16, 444
短期借入金	1, 786	-
1年内返済予定の長期借入金	7, 040	6, 977
未払法人税等	624	235
ポイント引当金	2	0
その他	3, 811	4, 168
流動負債合計	23, 911	27, 827
固定負債		
長期借入金	11,822	11, 188
退職給付引当金	4, 395	4, 450
役員退職慰労引当金	4	4
資産除去債務	647	650
その他	2, 028	2, 223
固定負債合計	18, 897	18, 516
負債合計	42, 809	46, 343
純資産の部		
株主資本		
資本金	16, 505	16, 505
資本剰余金	13, 953	13, 953
利益剰余金	8,018	7, 881
自己株式	$\triangle 1$	$\triangle 1$
株主資本合計	38, 476	38, 338
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4, 957	5, 747
評価・換算差額等合計	4, 957	5, 747
純資産合計	43, 433	44, 086
負債純資産合計	86, 243	90, 430

(2)四半期損益計算書 (第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

		(単位・日ガロ)
	前第1四半期累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年5月31日)
売上高	36, 687	31, 567
売上原価	25, 577	21, 684
売上総利益	11, 109	9, 883
販売費及び一般管理費	10, 227	9, 678
営業利益	882	204
営業外収益		
受取利息	17	13
受取配当金	72	72
受取賃貸料	322	283
その他	169	153
営業外収益合計	581	522
営業外費用		
支払利息	57	46
賃貸収入原価	263	223
その他	24	46
営業外費用合計	346	316
経常利益	1, 117	410
特別利益		
違約金収入	2	_
特別利益合計	2	-
特別損失		
固定資産除却損	8	3
店舗閉鎖損失	20	-
減損損失	30	-
リース解約損	11	4
その他	0	0
特別損失合計	72	7
税引前四半期純利益	1, 047	402
法人税、住民税及び事業税	456	133
法人税等調整額	△82	△0
法人税等合計	373	132
四半期純利益	673	270

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) 該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示) 該当事項はありません。